

園だより 12月号



令和6年11月28日
荒川区立南千住第三幼稚園
園長 柿原 直昭

遊び、話し合い、学び

園長 柿原 直昭

地面には落ち葉が広がり、急に冬を感じる季節となりました。

子どもたちは寒さに負けず、元気に登園し、たくさん遊んでいます。4月からは小学校と他園との交流をたくさん行ってきました。子どもたちは交流による遊びや日常の遊びから多くのことを学び、見違えるような成長を遂げています。

また、保育の中では、子どもたちで話し合う場面がたくさんあります。今は、12月6日(金)に行われる劇遊びの会について、どんな内容にするのか、どんな台詞にするのか、みんなで毎日話し合っています。劇遊びの会のリハサルには六瑞小の1年生が参観します。12月17日(火)には、交流給食があり、そこでは5・6年生と交流します。来年1月には町屋幼稚園との交流もあります。引き続き人との関わり合いを大切に、遊びや話し合いをとおして学びにつなげる保育を行っていきます。

今年1年間本園へご支援をいただき、ありがとうございました。少し早いですが、どうぞよいお年をお迎えください。

【劇遊び 取組の様子】



どんな劇にしたいか、みんなのイメージを出し合い、登場するものや出来事を考え、ストーリーを作りました。今までの遊びの経験が生きています。



ストーリーができ、実際に動いてみることにしました。「このとき(場面)はどんな気持ちかな？」気持ちや台詞、動きを考えながら、なりきって表現します。



絵本などを参考にしながら、劇に必要な道具を考え、友達と一緒に協力して作っています。



【12月のねらい】

- ・友達と考えを出し合うことで、遊びが面白くなることを十分に味わう。
- ・目標に向かって繰り返し取り組む楽しさや、できた満足感を味わう。
- ・学級の友達と、イメージを出し合いながらいろいろな表現遊びを楽しみ、みんなで作り上げる達成感を味わう。
- ・年末年始の行事や日本の伝統文化に関心をもつ。